



練馬区立開進第一中学校

開進一中だより

平成30年度 第9号 平成31年1月30日発行

30年前そして30年後

校長 古山 真樹

今年の新年の新聞・テレビ報道を見ると、平成の30年を振り返るという企画が多かったように思います。30年前、平成元年（1989年）は日本で初めて消費税3%が導入され、世界的にはベルリンの壁が崩壊した年でした。君たち中学生にはピンときませんね、生まれる前ですから。30年前は今の常識・当たり前が通用しません。例えば、サッカーJリーグはまだありません、メジャーリーグへの挑戦の先駆けとなった野茂投手もまだアメリカに渡ってません。携帯電話の普及率はなんと0.2%、パソコンもまだの時代です。それが今では、ほとんどの家庭にパソコンそしてスマートフォンが入ってきています。産業界では、ロボット・AIの時代へと大きな変化をしています。ものすごい勢いで世の中は変化しています。

自分自身を考えると、30代になったばかり、2校目の勤務校で「さて将来どうあるべきか」と考える年頃でした。第2子も生まれました。社会人としての自覚と責任がより重く感じられたことを覚えています。

さて君たちの30年後はどうなっていることでしょうか。ぜひ理想像を描いてください。40代、^{そうねん}壮年と呼ばれる働き盛り、社会の第一線で働いていることでしょうか。そうでなくては困ります。家庭生活では、子供の成長を見守る時期でしょう。世の中はどんな状況になっているか想像も付きませんが、そんな中での自分の姿を思い描いてほしいと思います。一つには社会人としてどのように働いているか。もう一つ、家庭人としてどのような家庭をもっているか。大いに理想を描きましょう。若者なのだから。ただし、あこがれだけではいけません。自分の理想像を実現するために、今からやらねばならないこと、今年クリアしなくてはならないことは何なのか。自分に足りない点は何なのか。どういう風に自分の甘さ・弱さを克服していくのか。現実の自分をしっかりと見つめて、どのような時代にも対応できる自分自身をしっかりと創り上げていきましょう。

今月の一句

学問のさびしさに堪へ炭をつぐ ^{た すみ} 山口誓子 ^{やまぐちせいし}

私が大学受験の勉強をしているときに「わかるなあ、この気持ち」と思った俳句です。家族が寝静まった中、一人明け方まで勉強をしているとき、寂しくカップヌードルを^{すす}啜り、気がつく^すと東の空が明るくなってきた経験は忘れられません。合格の保証などなく、ひたすら受験勉強に打ち込むことはたいへんな孤独を感じます。その時「なるほど」と共感した俳句です。しかし、受験勉強などは大学での学問の厳しさに比べればたやすいものであることは後で知りました。学問とは、基本的に一人でやるもの。学んだことから自分なりの考えを導き出し、自分の考えを形成していくことです。人の意見に振り回されたり^{げいどう}迎合したりしてはいけません。一人で考える孤独が学問の大切な体験でもあり、楽しさでもあります。そしてそのことが強い精神力を磨くことにつながります。

さて、学問に関する自分の経験を長々と述べてしまいましたが、意外と君たちにはわかりづらい俳句かもしれません。大正13年冬、作者が大学で法律の学問をしているときの^す下宿生活の様子です。「炭をつぐ」という動作が何を意味するかも不明ですね。かつて暖房は^{ひばち}火鉢でした。灰を入れた器に炭をくべて^{たん}暖をとりました。今のようにボタン一つで安定した暖かさは得られず、寒くなれば炭を継ぎ足さなければなりません。なんともわびしい行為ですが、そうした孤独感が人を強くしました。

考えると今のSNSの世界は、さびしさに向き合うことができず、そのさびしさを^{まき}紛らわしたくて、すぐに他人の意見に迎合したり、仲間意識をもつことで、自分のさびしさから逃げるための世界と言えるかもしれません。自分と向き合うさびしさ、厳しさが人を強く成長させてくれるのです。

練馬区生徒表彰

本校から5名の生徒が選出されました

この「練馬区生徒表彰」は、善行や人命救助、福祉活動や環境美化活動で他の模範となる時、また、部活動等の対外活動・コンクール等において著しい成果をあげた生徒に対し、練馬区教育委員会が表彰を行うものです。なお、対外活動の基準としては、都大会3位以内、関東大会4位以内、全国大会8位以内など、大変厳しい基準が設けられています。表彰は2月4日(月)、全校朝礼の中で行う予定です。

1-2 柳澤 光渚【チアリーディング】

- USA Regionals 2018 地区大会東京大会 1位
- All Japan Cheerleading&Dance Championship USA All Star Nationals 2018 (全国選手権大会) 5位
全国14チーム中、5位の成績を収めた。

2-4 永野 爽夏【野球】

- 第31回女子軟式野球関東大会 2位
- 全国大会ベスト8
中高生の部24チーム中、2位で全国大会に出場し、ベスト8の成績を収めた。

2-4 速水 俊輔【水泳】

- 第66回東京都中学校学年別水泳競技大会 2位
31名出場の大会で2位の優秀な成績を収めた。

3-3 鶴木 航太【ソフトテニス】

3-4 結城 祥平【ソフトテニス】

- 東京都中学校ソフトテニス選手権大会 3位
個人の部(結城・鶴木ペア) 3位で関東大会出場
都内の各地区予選を勝ち上がった145ペアによるトーナメントで優秀な成績を収めた。

生徒会ボランティア活動

現在、生徒会では「ボランティアを通して学校や地域に貢献しよう」と、生徒が自主的に活動を計画し、実施しています。今回は、24日に「地域清掃・教室清掃」を行い、25日には「校内の落ち葉掃き」を行いました。両日でのべ94名もの生徒が集まり、活動しました。自主的に活動を計画する生徒がいることや、その声に賛同し、たくさんの生徒が集まるといことは、本当に素晴らしいことだと思います。



練馬区立中学校

連合ダンス発表会

1年1組女子 がんばりました!

1月29日(火)、練馬文化センター大ホールにおいて、連合ダンス発表会が行われました。本校からは校内の予選を勝ち抜いた1年1組女子が代表として参加しました。

ステージ上では、緊張の中、のびのびとリズムに乗った素晴らしい演技を披露してくれました。演技終了後、1組女子の生徒は「今までで一番の演技ができた!」と喜んでいました。本番に向けて、昼休みも放課後もたくさん練習してきました。その努力が実りましたね。1組女子のみなさん、素晴らしい演技をありがとう!



テーマ「昭和から平成、そして未来へ」

時代の変化と新しい未来へ向かっていく姿をダンスで表現した1年1組女子のみなさん。